

各 位

奈良文化財研究所 平成27年度 遺跡整備・活用研究集会のご案内

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所では、下記の日程・テーマにて、平成27年度 遺跡整備・活用研究集会を開催します。関係各位のご参加をお待ちしております。

記

1. 日程・会場 平成27年12月18日（金） 13：30～17：30
奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂（奈良市）

2. テーマ・開催趣旨

「デジタルコンテンツを用いた遺跡の活用」

近年、遺跡の活用において、遺跡現地での理解促進を目的に、ARやVRなどの技術によるデジタルコンテンツを導入する例をよく見かけるようになってきました。このような取り組みは、平成 23 年ごろから始まり、スマートフォンの普及が進んだ現在では、インターネットを通じて誰でもダウンロード可能なアプリケーションの開発を行う地方公共団体も増えています。

ARやVRを用いれば、遺跡に復元建物などのハード整備を行っていない場合でも、遺跡のかつての景観や人々の様子を再現し、来訪者が追体験することが可能となります。また、遺跡現地におけるガイダンスやナビゲーションとして、関連する情報を文字や音声、画像などで提供することもできます。さらには、キャラクターを開発して共に記念写真を撮影できるなど遊びの要素も加えて、身近に歴史を学ぶ契機とする仕掛けとするとともに、観光振興の側面での効果も期待されます。

一方、導入したデジタルコンテンツの維持管理をどうするか、今後導入を検討している場合には、開発の費用対効果をどう説明するか、広域的な観光アプリとの連携やハード面での遺跡整備との関係をどうするかなど、検討課題も多いように思われます。さらに、日進月歩の技術革新の中、今後これらの技術やその利用が、どのような方向へ向かっていくのかを見据えておくことも必要でしょう。

この研究集会では、このような技術開発の最前線の様子、全国の現状、課題や問題点を共有することを目的としています。

3. 参加申込

本研究集会は、史跡等の整備・活用に携わっている地方公共団体職員・関係者、大学所属の研究者等を対象とします。（会場の都合上、先着100名程度まで受け付けます。）

参加申込書に必要事項をご記入の上、平成27年12月11日までに、FAX・郵送・Eメールにてお申し込みください。Eメールの場合は、参加申込書データをメールに添付して送信ください。同様のご案内・参加申込書は、下記の奈良文化財研究所のホームページにも掲載しています。ご利用ください。<http://www.nabunken.go.jp>

以上

【申込・問い合わせ先】

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 文化遺産部 遺跡整備研究室（内田・高橋）

〒630-8577 奈良市佐紀町247-1 TEL； 0742-30-6710 FAX； 0742-30-6841

Eメール； sgiseki@nabunken.go.jp

平成27年度 遺跡整備・活用研究集会

テーマ： デジタルコンテンツを用いた遺跡の活用

日時： 平成27年12月18日（金） 13：30～17：30

※11：00～12：00に平城宮跡にてデモンストレーションを実施。

場所： 奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂

日程：

10：30 《 開場 》

11：00～12：00 デジタルコンテンツ デモンストレーション

●タブレット端末による『AR長岡宮』デモ（㈱ジーン）〔於：第二次大極殿前〕

※講堂より徒歩15分。雨天時は、講堂で実施します。

●タブレット端末およびスマートグラスによるデモ（㈱アスカラボ）〔於：講堂〕

13：30 開会挨拶・趣旨説明

13：40 講演 大石 岳史（東京大学生産技術研究所）

「3D e-Heritage とクラウドミュージアム」

14：30 報告①「遺跡におけるVR／AR技術利用の現状」

曽根 俊則（㈱ジーン）

15：00 《 休憩 》

15：10 報告②「アプリ開発・運用の実際 — ‘AR長岡宮’の活用と課題」

渡辺 博（向日市教育委員会）

15：40 報告③「デジタルコンテンツを活用したガイドツアー

— ‘鴻臚館・福岡城バーチャル時空散歩’の運営」

中村 啓太郎（福岡市経済観光文化局）

16：10 報告④「Mixed Reality 技術を用いた文化財の復元—飛鳥京、江戸城、一乗谷」

角田 哲也（㈱アスカラボ）

16：40 《 休憩 》

16：50 総合討議

17：30 閉会挨拶

※閉会後に情報交換会をおこないます（17：30～18：30、無料：茶話会）。

※講演題目はいずれも仮のものです。また、講演順序は変更になる場合があります。